

**筑波大学**  
**ソフトウェア配布サービス**  
**ご利用者様向けマニュアル**

Ver.4.0.20161117



作成日：2016年11月17日

**筑波大学 情報環境機構 学術情報メディアセンター**  
**株式会社内田洋行**

**UCHIDA**

改訂箇所	改訂内容	改訂日
全体	Ver 4.0 開発に伴う改訂	2015/01/20
全体	筑波大学 情報環境機構 学術情報メディアセンター仕様への修正	2016/11/17

## 目 次

1. DWONLOAD STATION の概要 .....	1
(1) . Download Station でできること .....	1
(2) . ご利用環境 .....	1
2. ログイン .....	2
3. TOP MENU (トップメニュー画面) .....	3
4. ソフトウェアのダウンロード.....	4
4-1. ソフトウェア選択 .....	5
(1) . 『ソフトウェア選択』画面で、ダウンロードしたいソフトウェアを選びます。 .....	5
4-2. ダウンロード実施.....	6
(4) . 『認証プログラム番号確認』画面 .....	10
5. ソフトウェアのインストール ( WINDOWS 編 ).....	12
(1) . 認証プログラムを実行する .....	13
(2) . 開始メッセージ .....	14
(3) . インストーラの確認 (認証プログラムチェック) .....	15
(4) . インストーラの起動 (実行) .....	17
(5) . ソフトウェアをインストールする .....	18
(6) . 終了する (※必ず実施してください) .....	18
(7) . エラーメッセージと対応 .....	19
6. ソフトウェアのインストール (MAC OS X 編) .....	21
(1) . 認証プログラムの実行 .....	22
(2) . 開始メッセージ .....	23
(3) . 認証プログラムのチェック.....	23

---

(4) . パスワードチェック .....	24
(5) . 実行.....	25
(6) . ソフトウェアをインストールする。.....	26
(7) . エラーメッセージと対応 .....	28
7. ダウンロード履歴管理 .....	30
7-1. ダウンロード履歴管理検索 .....	31
7-2. ダウンロード履歴管理詳細 .....	34
8. システム使用履歴.....	37
9. F A Q .....	38
10. メンテナンスモード.....	39
【付録1】SYMANTECH ENDPOINT PROTECTION でダウンロードした EXE ファイルが 削除されてしまう場合 .....	40
【付録2】ダウンロードしたアプリケーションの実行許可 (MAC OS X 10.7 以降) .....	42
【付録2】こんな時どうする? .....	46

---

## 用語

用語	説明
認証プログラム	セキュリティプログラムでラッピングされたインストールプログラム ダウンロード実施時に作成されます。
認証プログラム番号	認証プログラムのダウンロードを実施する際に採晩される管理番号
インストール予定数	ダウンロードする認証プログラムでインストール可能な実行回数
有効期限	作成した認証プログラムの実行可能な時間 承認プロセスの有無で基準となる日時が異なります。 承認プロセスなし：認証プログラム作成日時を有効期限の基準日時とします。 承認プロセスあり：ダウンロード申請の承認日時を有効期限の基準日時とします。
実行パスワード	ダウンロードした認証プログラムを実行する際、インストーラ起動時のチェックに使用されるパスワード。 ダウンロード実施時にユーザーが設定します。
インストール区分	新規インストールか再インストールかを表します。
手配番号	ライセンスを購入する必要がある場合、購入を証明する番号
利用可能ユーザーID	認証プログラムの作成者とダウンロードを行うユーザーが異なる場合にダウンロードを許可するユーザーIDを設定します。

## 1. Dwonload Station の概要

### (1) . Download Station でできること

- ① Download Station により、学内で利用するソフトウェアのいくつかについて、利用者が Web 経由でインストーラをダウンロードして、インストールを実行できます。
- ② ダウンロードするインストーラは、Download Station アプリケーションによりラッピングされており、暗号化・圧縮されています。また、パスワードや利用期間を設定することによりセキュリティを確保したインストーラの利用を実現します。
- ③ 自身のダウンロード履歴を確認することができます。

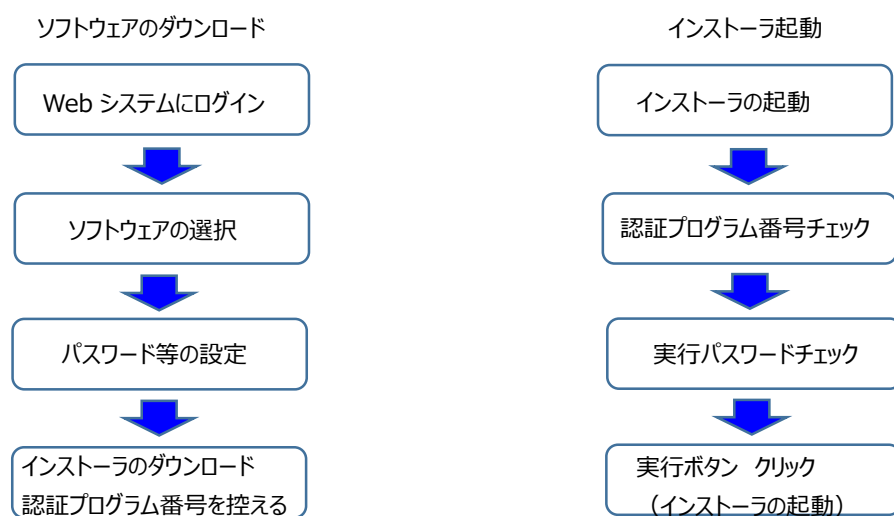


図 1 Download Station で出来る事

### (2) . ご利用環境

① OS	Windows	Windows 7 Windows 8 または 8.1 ※.NET Framework 3.5 が必要です。
	Mac OS X	Mac OS X 10.7 Lion Mac OS X 10.8 Mountain Lion Mac OS X 10.9 Marverics Mac OS X 10.10 Yosemite
② ブラウザ	Internet Explorer 9 以降 Fire Fox 最新バージョン Safari 最新バージョン Google Chrome 最新バージョン	
③ ネットワーク	Download Station サーバーにアクセス可能であること	

表 1 Download Station ver 4.0 エンドユーザー利用環境

## 2. ログイン

ご利用のPCから、専用URLにアクセスします。

以下の画面が表示されたら、ユーザーIDとパスワードを入力し、**ログイン** ボタンをクリックしてください。  
『Top Menu』画面が表示されます。

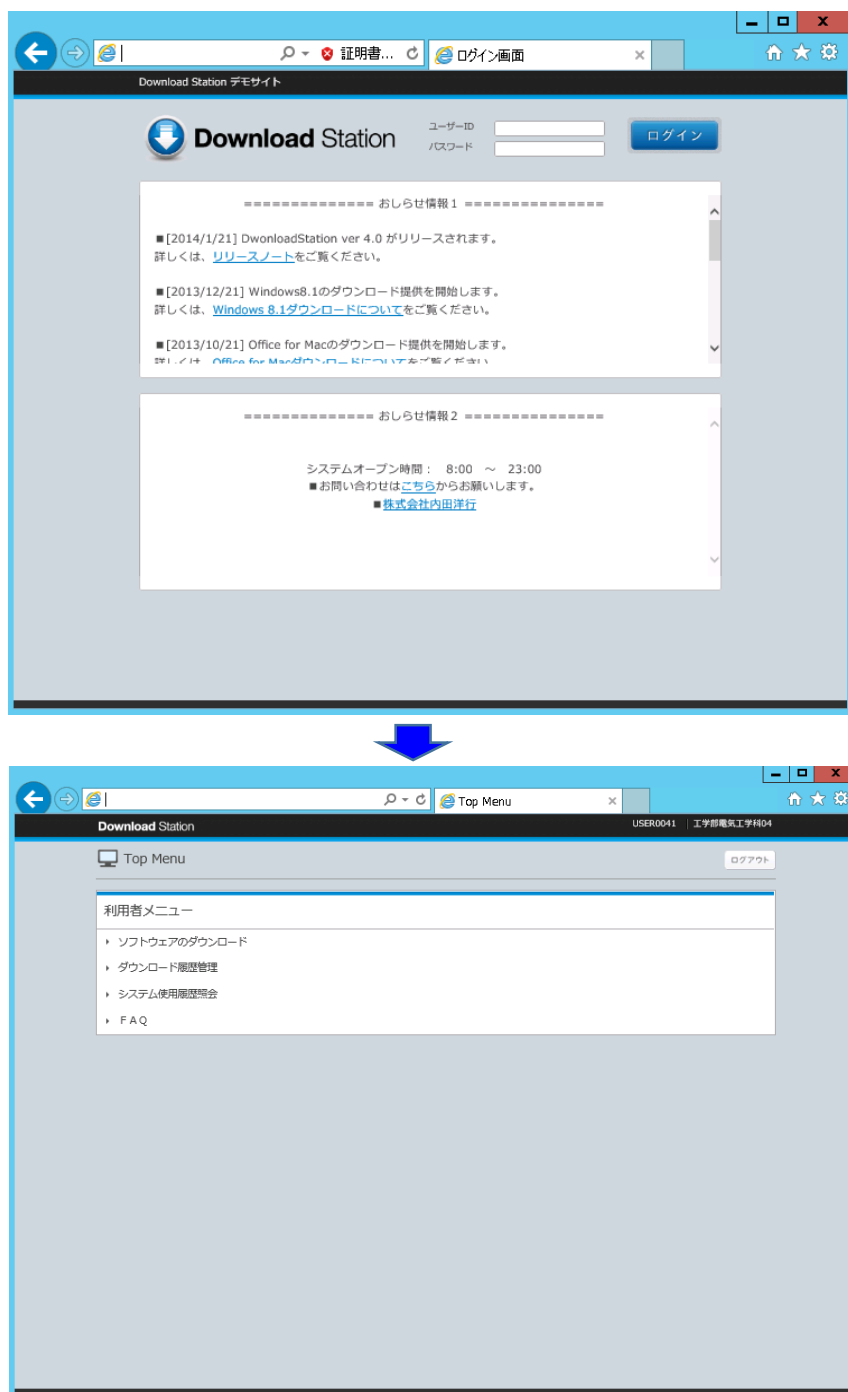


図 2-1. ログイン

### 3. Top Menu （トップメニュー画面）

ログインユーザーID により、利用可能な機能がメニュー表示されます。

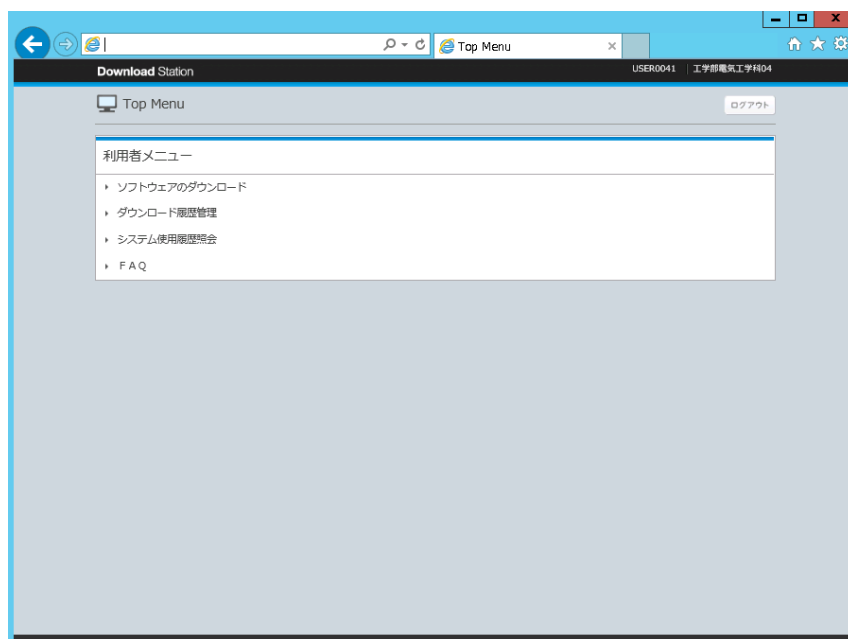


図 3. TopMenu 画面

メニュー	機能
ソフトウェアのダウンロード	インストールしたいソフトウェアをダウンロードできるメイン機能です。
ダウンロード履歴管理	ご自身のダウンロードの履歴を確認や、インストール用のパスワードの変更ができます。
システム使用履歴照会	本システムの使用の履歴を確認できます。
FAQ	本システムの利用に際しての Q&A 集です。

表 3. TopMenu 画面項目

## 4. ソフトウェアのダウンロード

インストールしたいソフトウェアのインストーラをダウンロードする機能です。ソフトウェアのダウンロードを実施するにあたり、管理者の承認が必要なソフトウェアと不要なソフトウェアで操作が異なります。

管理者承認の必要・不要はマスタに登録され、システムが自動で判定し画面が表示されます。

管理者の承認が必要なソフトウェア：『ソフトウェアのダウンロード機能』を利用して申請を行います。

管理者の承認が得られた後、『ダウンロード履歴管理』機能を利用してソフトウェアをダウンロードします。

管理者の承認が不要なソフトウェア：『ソフトウェアのダウンロード機能』を利用してダウンロードします。

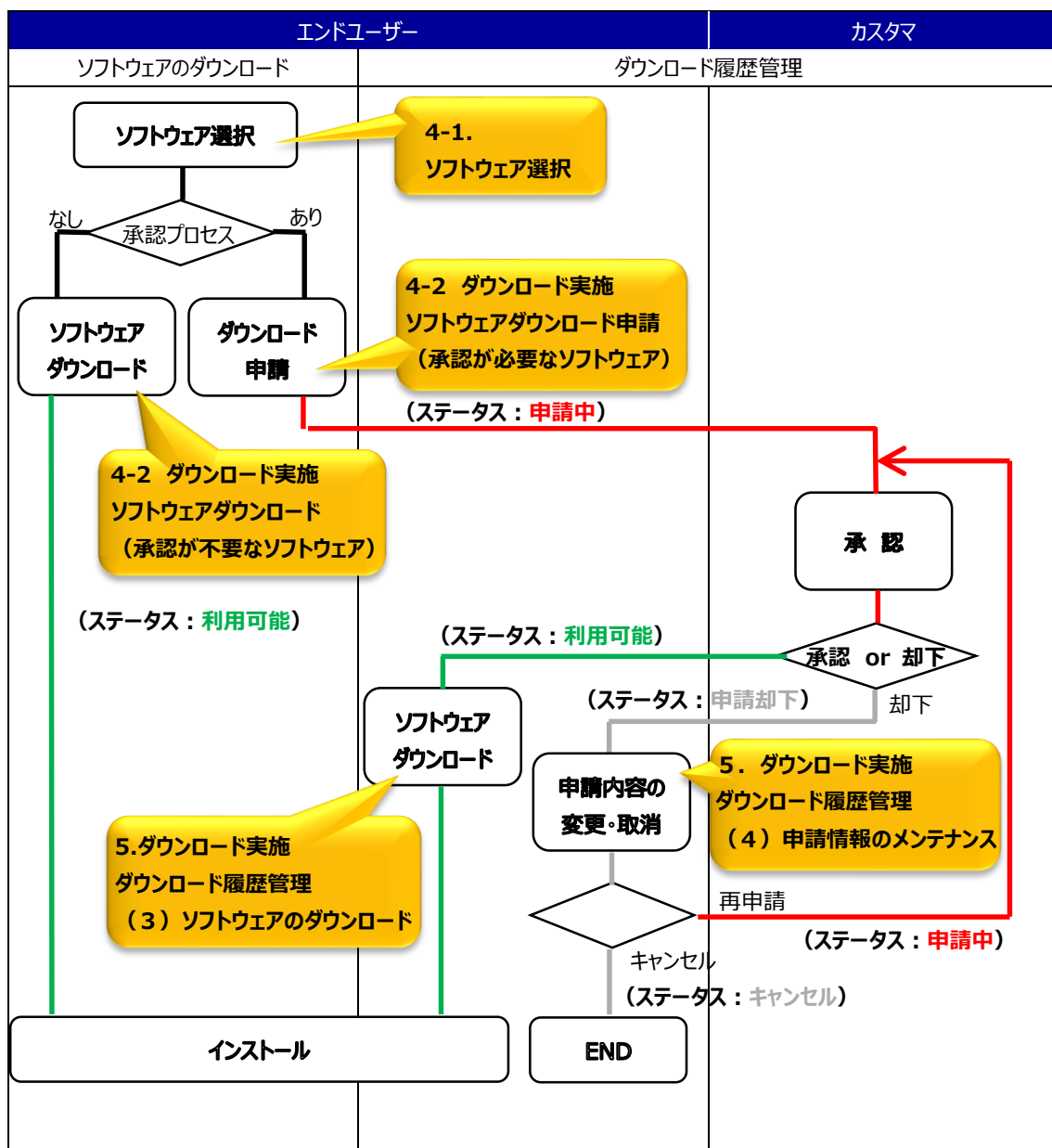
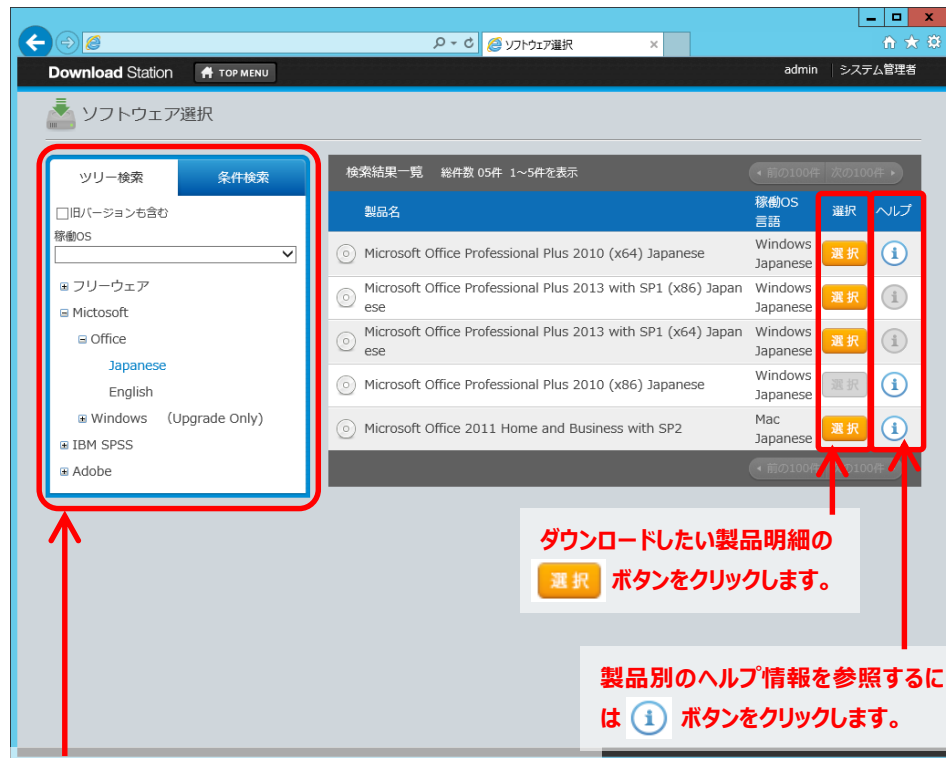


図 4-1. ソフトウェアダウンロード フロー

## 4-1. ソフトウェア選択

TopMenu 画面で『ソフトウェアダウンロード』を選択します。

(1) . 『ソフトウェア選択』画面で、ダウンロードしたいソフトウェアを選びます。



製品グループツリーを展開してダウンロードしたい製品グループ名をクリックすると、明細部にソフトウェアが表示されます。

図 4-1-1. ソフトウェア選択画面

### 【留意点】

- (1) 選択ボタンが非アクティブ状態（クリックできない）のときは以下のケースです。EES 対応窓口までお問い合わせください。
- ・該当するソフトウェアのインストーラが準備されていない

### ① 製品グループツリーを利用してソフトウェアを探す。

画面左にログインしたユーザーが利用可能な製品グループツリーが表示されます。

ツリーを展開して製品グループをクリックすることにより、そのグループに含まれる製品の一覧が表示されます。

### ② ヘルプボタン

ヘルプボタンをクリックすることにより、その製品の利用についてのヘルプ情報が表示されます。

- ・PDF 形式などのドキュメントファイルの場合、ファイルをダウンロード



図 4-1-2. ダウンロード確認

・URL リンクの場合

別ウィンドウでヘルプページが開きます。

### ③ 選択 選択ボタン

『ダウンロード実施』画面に遷移します。

ソフトウェアの利用に管理者承認が必要なソフトウェアは申請を行い、承認が不要なソフトウェアはダウンロードを行います。

## 4-2. ダウンロード実施

必要な情報を入力し、利用規約に同意することによりソフトウェアのダウンロード・ダウンロード申請を行うことができます。

該当ソフトウェアがダウンロードを行うために承認プロセスが必要な、承認プロセスなしで利用可能かによって、利用可能なボタンが異なります。

The screenshot shows the 'ダウンロード実施' (Download Implementation) screen in the 'Download Station' application. The browser address bar shows 'ダウンロード実施'. The page title is 'ダウンロード実施'. The user is logged in as 'admin' with the role 'システム管理者'.

The main content area displays information for 'Microsoft Office Professional Plus 2010 (x64) Japanese'. It includes fields for 'インストール予定数' (10), '有効期限' (1 month), '実行パスワード' (masked), 'インストール区分' (新規), '実行パスワード (確認)' (masked), '手配番号', and '利用可能ユーザーID'.

Below these fields is a section for '利用規約' (Terms of Use) with a scrollable list of terms. At the bottom of this section are radio buttons for '同意します' (I agree) and '同意しません' (I do not agree).

At the very bottom of the page are two buttons: '登録プログラム番号のみ作成' (Create only registered program number) and 'ダウンロード' (Download).

図 4-2-1. ダウンロード実施画面（承認プロセスなし）

(1) . 必要な情報を入力します。

画面の指示にしたがって入力を進めてください。

システム設定により製品ごとに項目名、必須/任意、入力スキップ（不要）など異なる場合があります。

システム設定により製品ごとに入力方法が異なる例：備考欄

図 4-2-2. ダウンロード実施画面入力項目コントロール

No.	項目名	入力属性	説明
1	インストール予定数	数字	インストーラ実行回数を入力します。この回数を超えてインストーラを実行することはできません。 ※システム設定により入力スキップ（不要）である場合があります。
2	有効期限	数字	インストーラを実行できる有効期限を入力します。この画面からダウンロードしてからの経過時間です。
3	実行パスワード	半角英数	ダウンロードした圧縮・暗号化インストーラを実行するために必要な任意のパスワードです。
4	実行パスワード確認	半角英数	
5	インストール区分	選択	以下の区分から選択します。 新規 新規（ダウンロード） 新規（アップグレード） 再インストール
6	手配番号	半角英数	管理者の指示に従って情報を入力します。 例）発注・請求書番号を入力する ライセンス証書番号を入力する 再インストール時には前回認証プログラム番号 ※インストール区分との組み合わせで必須入力となる場合があります。
7	利用可能ユーザーID	テキスト	現在の操作者以外にダウンロードを許可する場合、該当ユーザーIDを設定します（1名のみ）。 ※このIDはダウンロードステーションに登録されている必要があります。
8	備考 1	テキスト	管理者の指示に従って必要な情報を入力します。
9	備考 2	テキスト	
10	備考 3	テキスト	
11	備考 4	テキスト	
12	備考 5	テキスト	

表 4-2-1. ダウンロード実施画面項目

## (2) . 利用規約の記載内容を確認し、[同意します]をクリックします。

利用規約欄に記載されている内容を確認し、[同意します]をクリック（ON に）してください。

このチェックが無いとダウンロードボタンをクリックすること（ダウンロード）ができません。

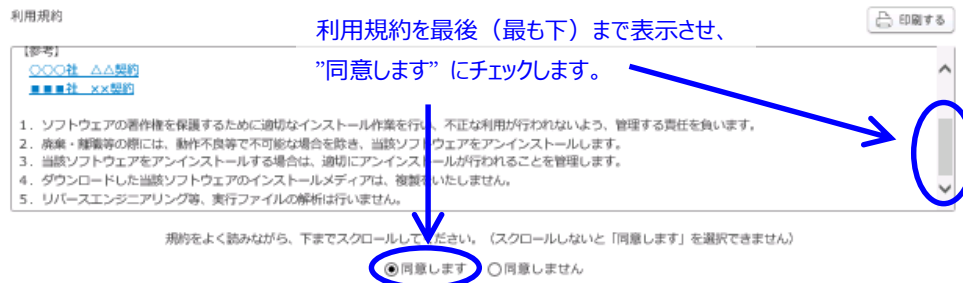


図 4-2-3. ダウンロード実施画面ボタン（承認プロセスなしの場合）

### 【留意点】

- [同意します]ラジオボタンをクリックすることができない場合には以下の2つの点について確認と操作をお願いします。

- ー 利用規約表示エリアのスクロールバーを一番下までスクロール（移動）してください。
- ー インターネットエクスプローラを利用している場合、[ツール]-[インターネットオプション]-[セキュリティ]で Download Station のサイトを[ローカル イン트라ネット] ゾーンに追加してください。

- Mac 端末における画面スクロールについて

Mac 端末では画面のスクロールには“2本指スクロール”を行います。

2本指でスクロールパッドを上下左右に動かします。

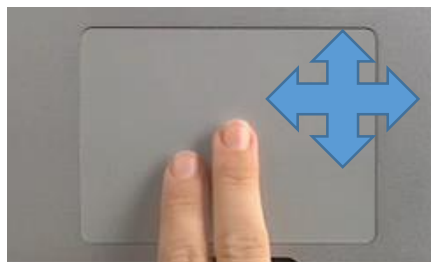


図 4-2-4 Mac OS PC の2本指スクロール

## (3) 認証プログラムの作成・ダウンロード・ダウンロード申請

必要な情報を入力し、利用規約に同意することで操作ボタンを利用できるようになります。

利用できるボタンは、選択したソフトウェア製品がダウンロードに承認が必要か否かによって変わります。

承認プロセス	利用可能ボタン
承認プロセス無し	<div> <div>認証プログラム番号のみ作成</div> <div>ダウンロード</div> </div>
承認プロセス有り	<div>ダウンロード申請</div>

表 4-2-2. 認証プログラム作成時の利用可能ボタン

① **ダウンロード** **ダウンロードボタン**

認証プログラム番号を作成・登録し、認証プログラムをダウンロードします。  
確認メッセージが表示されます。操作を続ける場合には[OK]ボタンをクリックしてください。

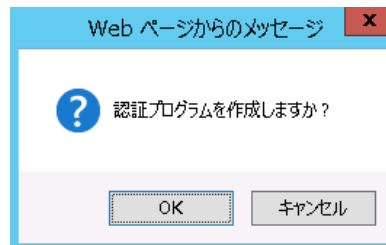


図 4-2-5 [ダウンロード]ボタンクリック時の確認メッセージ

② **認証プログラム番号のみ作成** **認証プログラム番号のみ作成ボタン**

認証プログラム番号を登録し、認証プログラムのダウンロードは実施しません。  
確認メッセージが、ダウンロードボタンクリック時と同様に表示されます。操作を続ける場合には[OK]ボタンをクリックしてください。

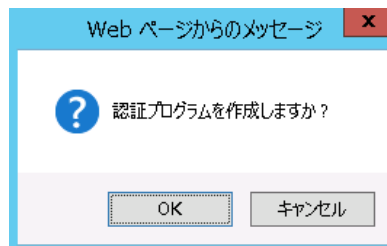


図 4-2-6 [認証プログラム作成のみ]ボタンクリック時の確認メッセージ

③ **ダウンロード申請** **ダウンロード申請ボタン**

認証プログラム番号を作成・登録し、認証プログラムの申請を行います。  
確認メッセージが表示されます。操作を続ける場合には[OK]ボタンをクリックしてください。

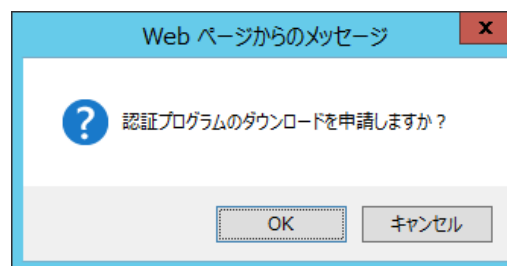


図 4-2-7 [ダウンロード申請]ボタンクリック時の確認メッセージ

#### (4) .『認証プログラム番号確認』画面

作成された認証プログラムの番号が表示されます。この番号は、インストール実行時に必要です。  
必ずメモしておいてください。

 ボタンまたは  ボタンを押して画面を遷移します。

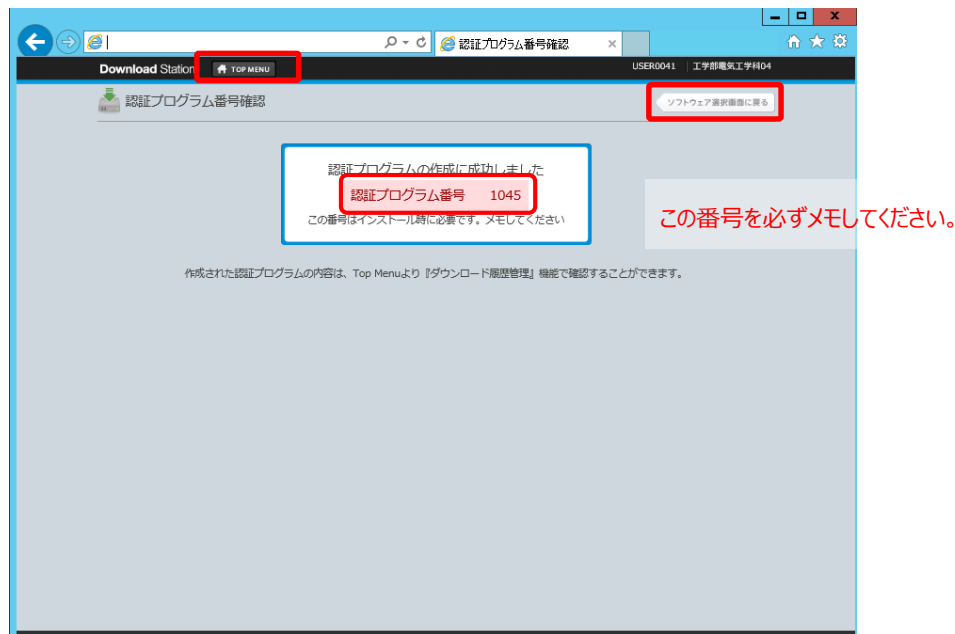


図 4-2-8 認証プログラム番号確認

#### 【留意点】

 ボタンをクリックした場合は、メッセージが下図のとおり表示されます。

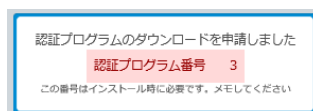


図 4-2-9 認証プログラム番号確認（ダウンロード申請時）

 ボタンをクリックした場合、認証プログラムがダウンロードされます。

ブラウザが、インターネットエクスプローラの場合、バージョンによってセキュリティ機能により、確認メッセージが表示されます。



図 4-2-10 ダウンロード確認メッセージ

[保存]ボタン右の▼をクリックするとショートカットメニューが表示されます。[保存 (S)]にカーソルを合わせてクリックして保存先を指定して保存してください。

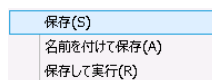


図 4-2-11 ダウンロード（保存）方法選択

ダウンロード終了後、以下のメッセージが表示されることがあります。右上の[X]をクリックして閉じてください。

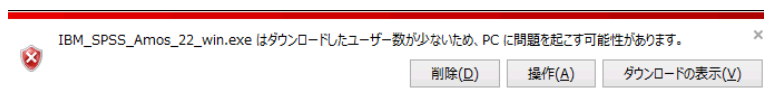


図 4-2-12 ダウンロード（保存）警告メッセージ

#### 【留意点】

##### ■ 認証プログラム番号を忘れてしまったら…

「ダウンロード履歴管理」画面で過去に作成した認証プログラム情報を参照することができます。  
この機能を利用することにより後でも確認することができます。

##### ■ ウイルス対策ソフトにより、ダウンロードしたファイルが削除されてしまうケースがあります。

ダウンロードファイルが削除されないよう、ウイルス対策ソフトの設定を一時変更する必要があります。  
操作方法は、お手数ですが「【付録 1】Symantech Endpoint Protection でダウンロードした exe ファイルが削除されてしまう場合」を参照して対応をお願いします。

##### ■ 有効期限の開始日時は、承認プロセスの有無で異なります。

承認プロセスなし：認証プログラム作成日時を基準に有効期限を判定しています。  
承認プロセスあり：ダウンロード申請を承認された日時を基準に有効期限を判定しています。

## 5. ソフトウェアのインストール（Windows 編）

ダウンロードした認証プログラムを実行し、パソコンにインストールします。

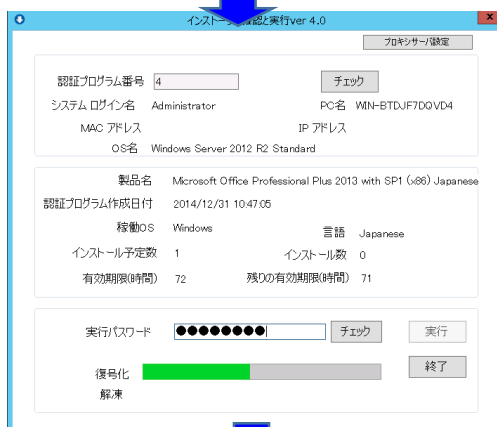
### 【前提条件】

- ◆ ネットワークに接続し、Download Station サーバーと通信が可能である必要があります。
- ◆ Windows の場合
  - Windows 7、8または 8.1
  - .NET Framework 3.5 がインストールされている必要があります。
  - Windows 7 以降には、OS に標準装備されています。
  - 未インストールの場合には、インターネットで検索するなどの対応を行い、マイクロソフト社のサイトからダウンロードしてインストールしてください。

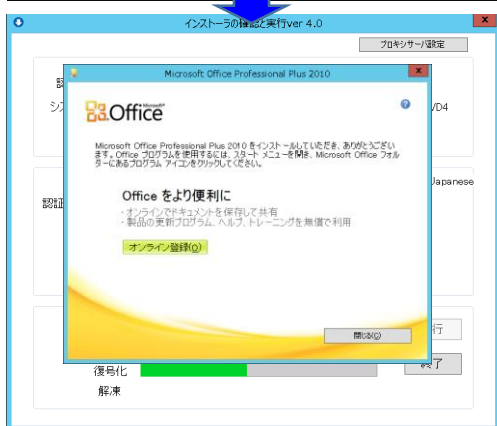
### インストール操作の流れ



ダウンロードしたプログラムを実行します。



認証プログラム番号と実行パスワードを入力してインストールを実行します。



インストールが終了したら[終了]ボタンをクリックして終了します。

### 【留意点】

- ★インストール中に[終了]ボタンはクリックしないでください。
- 必ずインストールが終了してから[終了]ボタンをクリックしてください。
- 実行中のインストールが失敗します。
- ★[終了]ボタンをクリックして終了しなかった場合、再起動時にインストーラ画面が表示されます。

図 5 ソフトウェアインストールの流れ

## (1) . 認証プログラムを実行する

**Download Station からダウンロードしたソフトウェアをインストールするには、ネットワークに接続し、Download Station サーバーにアクセス可能である必要があります。**

- ① ダウンロードした認証プログラムファイルをダブルクリックします。



ファイル名称は、ソフトウェアごとに異なります。アイコンが左図の通りではない場合がありますが続行可能です。

**【留意点】** ご利用の OS により警告メッセージが表示される場合があります。

### <お使いの PC が Windows 8 の場合>

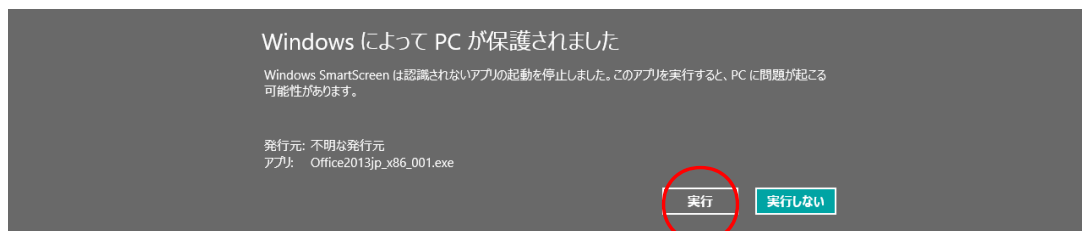
OS の仕様により、以下の画面が表示される場合があります。

[詳細情報]をクリックしてください。

[OK]ボタンをクリックすると画面がクローズして終了します。その場合には再度、認証プログラムを起動してください。

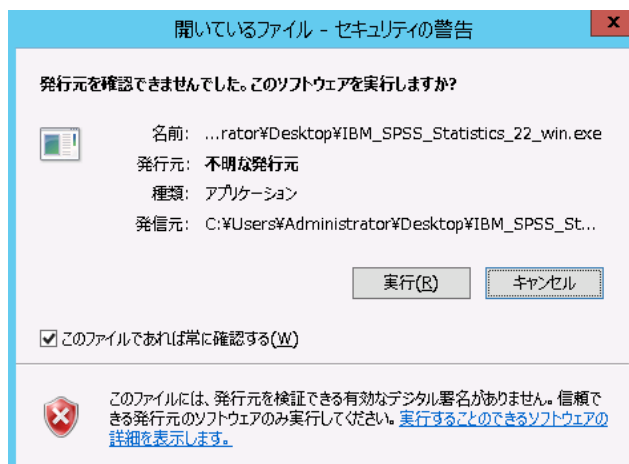


[実行]ボタンをクリックしてください。



### <お使いの PC が Windows 7 以降の場合>

OS の仕様により、以下の画面が表示される場合があります。[実行]ボタンをクリックしてください。



その他、ウイルス対策ソフトなどにより、認証プログラムの起動の許可を確認するメッセージが表示されることがあります。その際には実行を許可するよう、操作をお願いします。

## (2) . 開始メッセージ

開始メッセージが表示されます。[Yes]ボタンをクリックしてください。

解凍処理が行われ、『インストーラの確認と実行』画面を表示します。

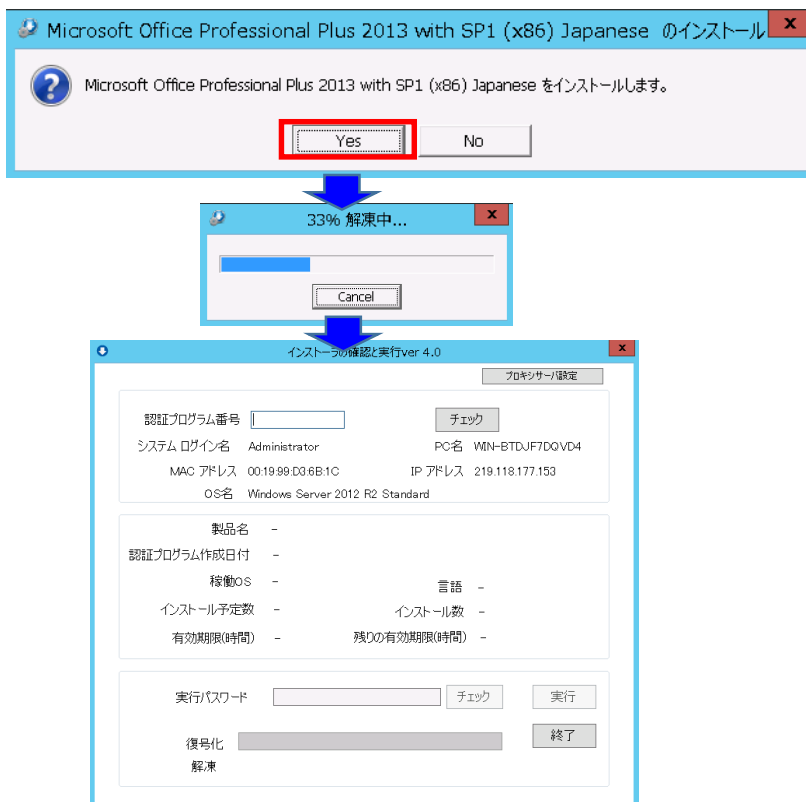


図 5-2 認証プログラムの起動

### (3) . インストーラの確認 (認証プログラムチェック)

- ① 認証プログラム番号を入力し、[チェック]ボタンをクリックします。

サーバーと通信し、認証プログラム番号の存在と製品の種類を確認します。

入力された認証プログラム番号が正しい場合、作成された認証プログラム情報が表示されます。

インストーラの確認と実行 ver 4.0

認証プログラム番号  **チェック**

システム ログイン名 Administrator PC名 WIN-BTDJF7DQVD4

MAC アドレス IP アドレス

OS名 Windows Server 2012 R2 Standard

**認証プログラム番号を入力し、  
[チェック]ボタンをクリック**

製品名 -

認証プログラム作成日付 -

稼働OS - 言語 -

インストール予定数 - インストール数 -

有効期限(時間) - 残りの有効期限(時間) -

実行パスワード  **チェック** **実行**

復号化  **終了**

解凍

インストーラの確認と実行 ver 4.0

認証プログラム番号 4

システム ログイン名 Administrator PC名 WIN-BTDJF7DQVD4

MAC アドレス

OS名 Windows Server 2012 R2 Standard

**認証プログラムの情報が表示されます。  
すでに実行したインストール起動回数  
認証プログラムの利用可能な残時間  
(超過している場合にはマイナス表示します)**

製品名 Microsoft Office Professional Plus 2013 with SP1 (x86) Japanese

認証プログラム作成日付 2014/12/31 10:47:05

稼働OS Windows 言語 Japanese

インストール予定数 1 インストール数 0

有効期限(時間) 72 残りの有効期限(時間) 72

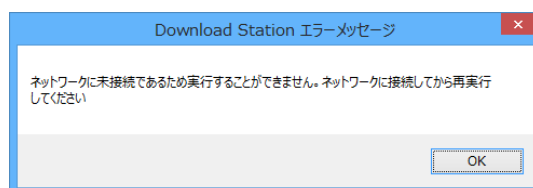
実行パスワード  **チェック** **実行**

復号化  **終了**

解凍

図 5-3 認証プログラム番号と利用条件のチェック

【留意点】 以下のエラーメッセージが表示される場合の対処



- ネットワークに接続してください。
- プロキシの設定を行ってください。

ご利用のブラウザで設定されているプロキシの設定情報を[プロキシサーバ設定]ボタンをクリックして実施してください。

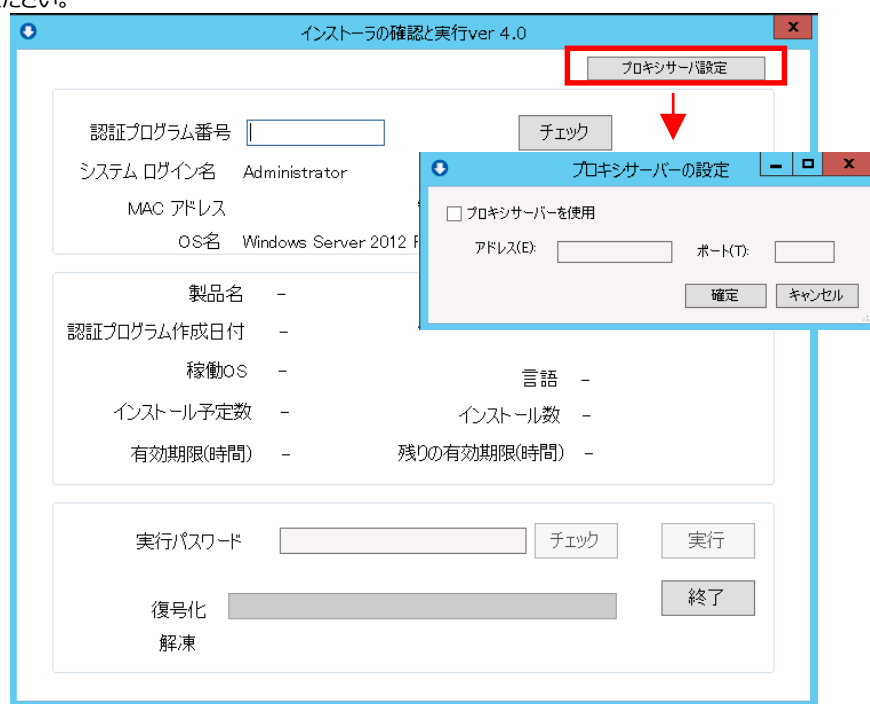


図 5-4 プロキシの設定

- サーバーがダウンしていないか管理部門にご確認ください。

#### (4) . インストーラの起動 (実行)

- ① 認証プログラム作成 (ダウンロード) 時に設定し実行パスワードを入力して[チェック]ボタンをクリックしてください。

インストーラの確認と実行 ver 4.0

プロキシサーバ設定

認証プログラム番号 4

システム ログイン名 Administrator PC名 WIN-BTDJF7DQVD4

MAC アドレス 00:19:99:D3:6B:1C IP アドレス 219.118.177.153

OS名 Windows Server 2012 R2 Standard

製品名 Microsoft Office Professional Plus 2013 with SP1 (x86) Japanese

認証プログラム作成日付 2014/12/31 10:47:05

稼働OS Windows 言語 Japanese

インストール予定数 1 インストール数 0

有効期限(時間) 72 残りの有効期限(時間) 72

実行パスワード

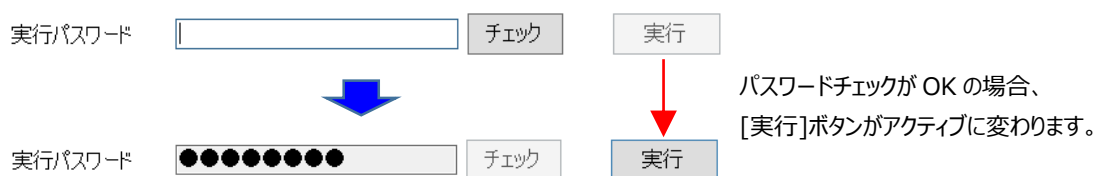
復号化

解凍

図 5-5 パスワードチェック

- ② 実行パスワードが正しい場合、[実行]ボタンがアクティブになります。

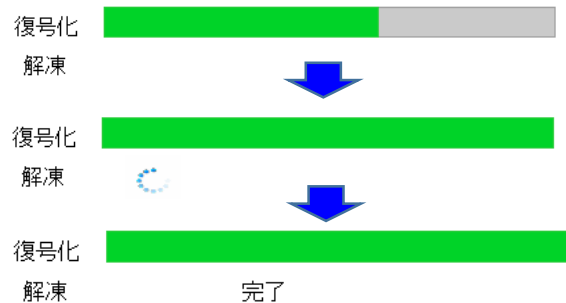
[実行]ボタンをクリックしてください。



パスワードチェック時に P.29 のエラーが表示されることがあります。

③ [実行]ボタンをクリックしてください。

※[実行]ボタンをクリックすると、複合化処理と解凍処理が行われます。  
インストーラのファイルサイズによっては十数分必要な場合があります。



## (5) . ソフトウェアをインストールする

インストーラが起動します。インストーラの指示に従いインストールを実行してください。

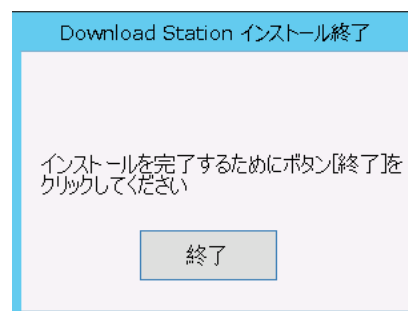
### 【留意点】

★インストール中に[終了]ボタンはクリックしないでください。

必ずインストールが終了してから[終了]ボタンをクリックしてください。実行中のインストールは失敗します。

★[終了]ボタンをクリックして終えなかった場合、再起動時にインストーラ画面が表示されます。必ず[終了]ボタンをクリックしてください。

( [終了]ボタンがクリックされれば、以降は表示されなくなります。



## (6) . 終了する (※必ず実施してください)

ソフトウェアのインストールが終了したら、[終了]ボタンをクリックして、当画面を閉じてください。

## (7). エラーメッセージと対応

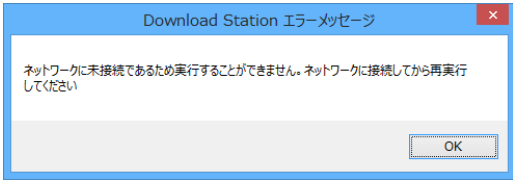
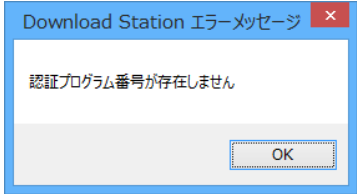
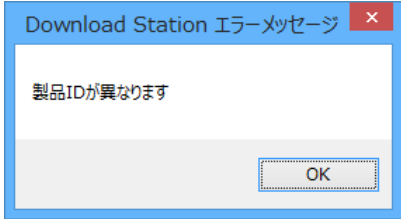
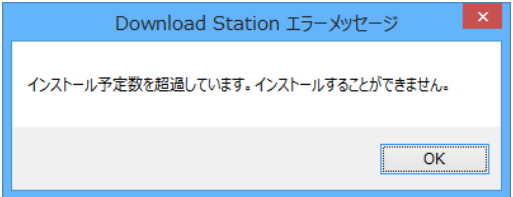
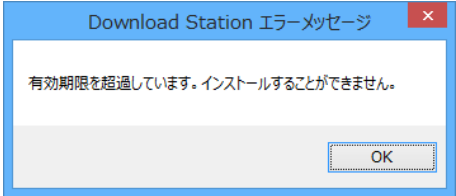
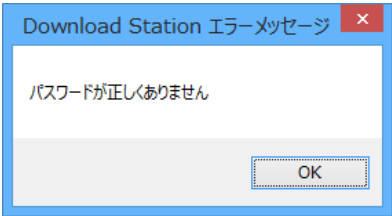
エラーメッセージ	原因と対応
	<p>ネットワークに接続されていません。</p> <p><input type="button" value="OK"/> をクリックして、Download Station サーバーに接続できることを確認して、再度実行してください。 ※プロキシの設定が必要な場合があります。</p>
	<p>入力された認証プログラム番号が存在しません。</p> <p><input type="button" value="OK"/> をクリックして正しい認証プログラム番号を入力してください。</p>
	<p>入力された認証プログラムの製品とインストールソフトウェアが一致しません。 インストーラを間違えている可能性があります。</p> <p><input type="button" value="OK"/> をクリックして、インストーラを終了してください。 インストーラが正しいかを確認のうえ、再度実行してください。</p>
	<p>認証プログラムのインストール予定数までインストール済みであり、これ以上インストールすることができません。</p> <p><input type="button" value="OK"/> をクリックして、インストーラを終了してください。 認証プログラム番号が正しいか確認してください。正しい場合には、これ以上インストールできないため、新たに認証プログラムを作成してください。</p>
	<p>認証プログラムの有効期間切れです。</p> <p><input type="button" value="OK"/> をクリックして、インストーラを終了してください。 認証プログラム番号が正しいか確認してください。正しい場合には、これ以上インストールできないため、新たに認証プログラムを作成してください。</p>
	<p>入力した実行パスワードが登録されているパスワードと不一致です。</p> <p><input type="button" value="OK"/> をクリックしてメッセージを閉じてください。 パスワードまたは、認証プログラム番号が間違っていないかを確認してください。</p>

表 5-1 エラーメッセージと対応

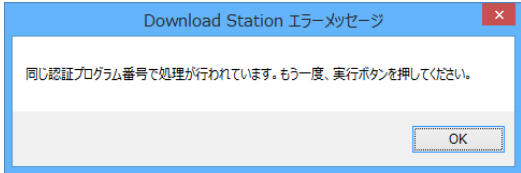

エラーメッセージ	原因と対応
	同一認証プログラム番号に対する処理が行われています。  をクリックして、数分後に再度実行してください。

表 5-1 エラーメッセージと対応（つづき）

## 6. ソフトウェアのインストール (Mac OS X 編)

ダウンロードした認証プログラムを実行し、パソコンにインストールします。

### 【前提条件】

- ◆ ネットワークに接続し、Download Station サーバーと通信が可能である必要があります。
- ◆ Mac OS の場合  
Mac OS X 10.7 / 10.8 / 10.9/10.10

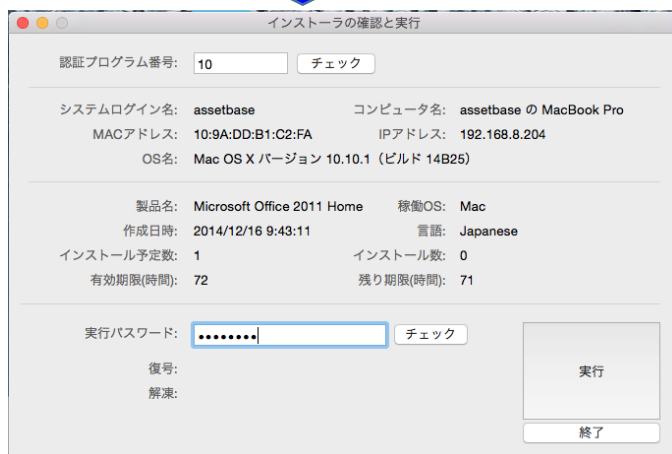
### 【留意点】

Mac OS X 10.6 以前をご利用の場合は、メディア貸出を行っております。  
学術情報メディアセンター事務室/春日サテライト事務室/  
学術情報部情報基盤課/東京キャンパス事務部学校支援課

ダウンロードした .zip ファイルをダブルクリック  
します。

### 【留意点】

ダウンロード後、.zip ファイル ではなく  
解凍後の.app ファイルである場合があ  
ります。



- ・Zip ファイルが解凍され、インストーラが表示されます。
- ・インストーラをダブルクリックして「インストーラの確認と実行」アプリケーションを起動します。

・認証プログラム番号と実行パスワードを入力してインストーラを起動します。

・インストールが終了したら、[終了]ボタンをクリックして「インストーラの確認と実行」アプリケーションを終了します。

図 6-1 インストール概要

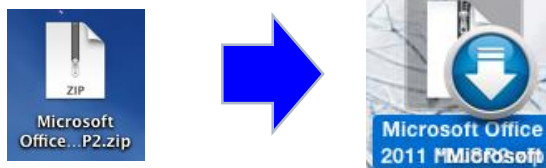
## 【留意点】

- ★インストール中に[終了]ボタンをクリックしないでください。
- 必ずインストールが終了してから[終了]ボタンをクリックしてください。
- 実行中のインストールが失敗します。

## (1) . 認証プログラムの実行

- ① ダウンロードした .zip ファイルを解凍します。

ダウンロードした .zip ファイルをダブルクリックしてください。



.zip ファイルに重なった状態で 製品名のインストーラ.app ファイルが解凍されます。

## 【留意点】

ダウンロード後、.zip ファイル ではなく、解凍後の.app ファイルである場合があります。

- ② 解凍されたインストーラファイルをダブルクリックして起動します。

『インストーラの確認と実行』画面が表示されます。

## 【留意点】

Mac OS より Download Station 上でソフトウェアをダウンロードし、インストール作業を行う場合、「開発元が未確認のため開けません。」というエラーメッセージが表示される場合があります。

このエラーを回避するためには、未確認の開発元のアプリケーションでもインストールできるように権限を一時的に許可する必要があります。



お手数ですが「【付録 2】未確認の開発元のアプリケーションでもインストールすることができるように権限を一時的に許可する」を参照して対応をお願いします。

## (2) . 開始メッセージ

『インストーラの確認と実行』画面が開始メッセージと共に表示されます。 **OK** ボタンをクリックしてください。

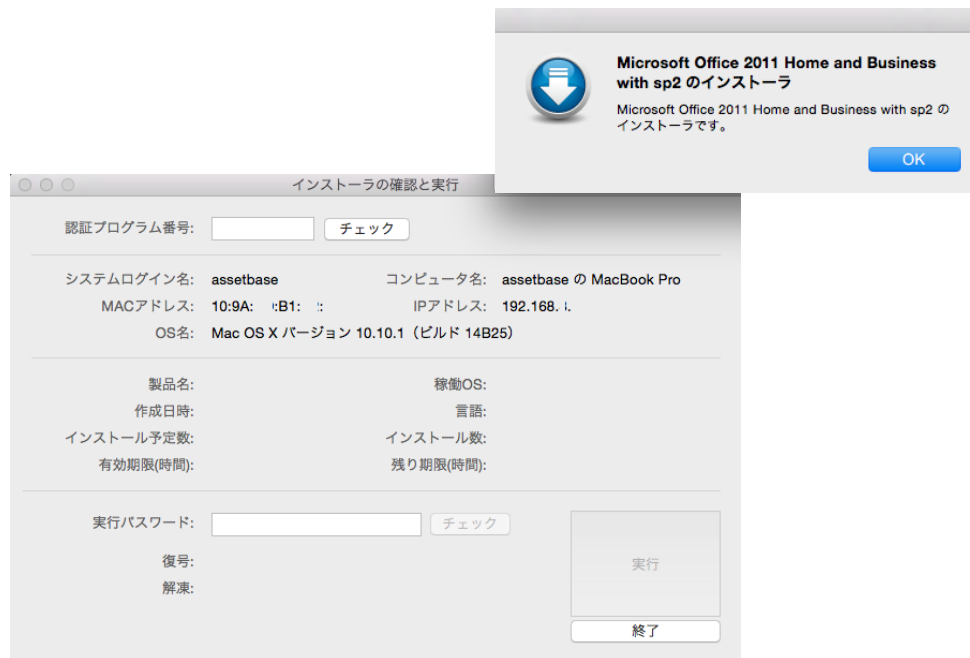


図 6-2 インストーラの起動

## (3) . 認証プログラムのチェック

- ① 認証プログラム番号を入力し、**チェック** ボタンをクリックします。  
サーバーと通信し、認証プログラム番号の存在と製品の種類を確認します。  
入力された認証プログラム番号が正しい場合、作成された認証プログラム情報が表示されます。

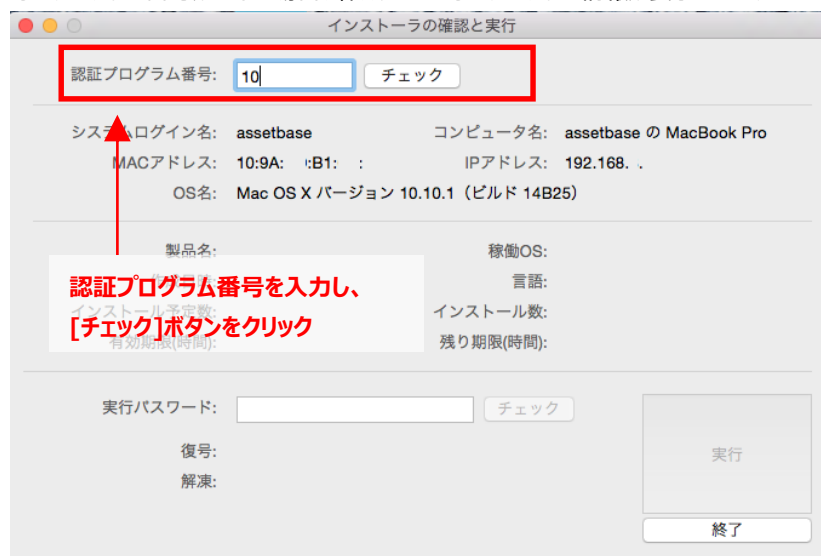


図 6-3 認証プログラム番号チェック

インストールの確認と実行

認証プログラム番号: 10

システムログイン名: assetbase

MACアドレス: 10:9A: :B1: : MacBook Pro

OS名: Mac OS X バージョン 10.10.1 (ビルド 14B25)

製品名: Microsoft Office 2011 Home 稼働OS: Mac

作成日時: 2014/12/16 9:43:11 言語: Japanese

インストール予定数: 1 インストール数: 0

有効期限(時間): 72 残り期限(時間): 70

実行パスワード:  チェック

復号:

解冻:

実行

終了

図 6-3 認証プログラムの表示

#### (4). パスワードチェック

認証プログラム作成時に設定した “実行パスワード” を入力して **チェック** ボタンをクリックします。

インストールの確認と実行

認証プログラム番号: 10 チェック

システムログイン名: assetbase コンピュータ名: assetbase の MacBook Pro

MACアドレス: 10:9A: :B1: : IPアドレス: 192.168. .

OS名: Mac OS X バージョン 10.10.1 (ビルド 14B25)

製品名: Microsoft Office 2011 Home 稼働OS: Mac

作成日時: 2014/12/16 9:43:11 言語: Japanese

インストール予定数: 1 インストール数: 0

有効期限(時間): 72 残り期限(時間): 71

実行パスワード: ..... チェック

復号:

解冻:

実行

終了

図 6-4 パスワードチェック

実行パスワードチェックが ok なら **実行** ボタンがアクティブになります。

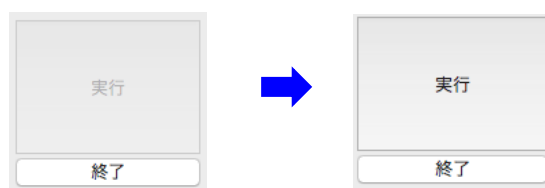


図 6-5 実行ボタンのアクティブ化

#### (5). 実行

**実行** ボタンをクリックします。複合化・解凍が行われた後、インストーラが起動・実行されます。

インストーラの指示に従ってインストールを実行してください。

※インストーラのファイルサイズによって複合化・解凍に掛かる時間が異なります。

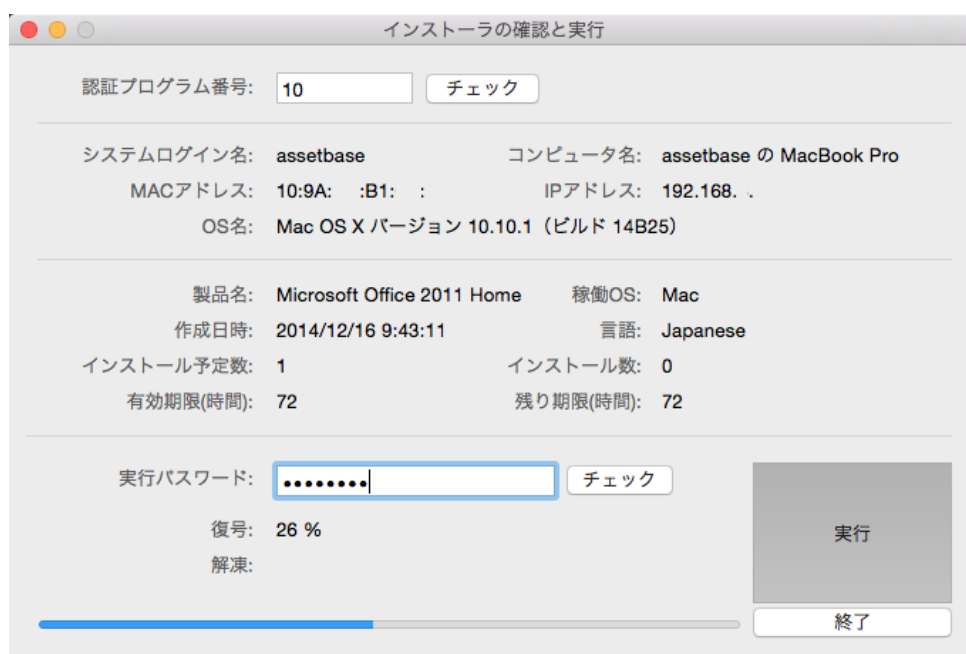


図 6-6 インストーラ実行

## (6) . ソフトウェアをインストールする。

インストーラにより動作が異なります。

### ① インストーラが起動する

ソフトウェアのインストーラが起動します。インストーラの指示に従ってインストールを続行してください。

### ② インストーラが起動することなくファイルがコピーされ、インストールが終了する。



図 6-7 .app ファイルのインストール

### ③ インストールでコピーされるアプリケーションファイルと同じ名前のファイルが存在する場合、既存のファイルの扱いを確認される場合があります。

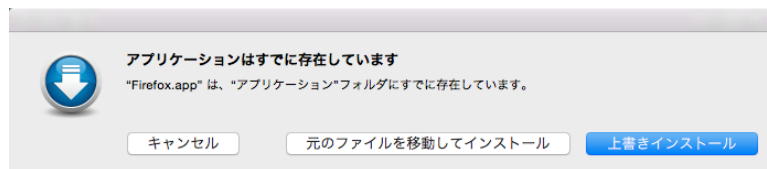


図 6-8 .app ファイルの置き換え確認

通常は、**上書きインストール** ボタンをクリックしてください。



図 6-9 .app ファイルの置き換えインストール（上書き）

元のファイルを移動してインストール ボタンをクリックした場合、アプリケーションをコピーしますが、現在コンピュータ上にあるファイルを別な場所にコピーします。元のファイルのコピー先は終了メッセージに表示されます。



図 6-10 .app ファイルの置き換えインストール（退避）

## (7). エラーメッセージと対応

エラーメッセージ	原因と対応
	<p><b>キャンセル</b> ボタンをクリックします。</p> <p>[システム環境設定]-[セキュリティとプライバシー]で[ダウンロードしたアプリケーションの実行許可]を“すべてのアプリケーションを許可”に設定を変更後に再度実行します。 【付録 2】をご参照ください。</p>
	<p><b>OK</b> ボタンをクリックします。</p> <p>[システム環境設定]-[セキュリティとプライバシー]で[ダウンロードしたアプリケーションの実行許可]を“すべてのアプリケーションを許可”に設定を変更後に再度実行します。 【付録 2】をご参照ください。</p>
	<p>入力された認証プログラム番号が存在しません。</p> <p><b>OK</b> をクリックして正しい認証プログラム番号を入力してください。</p>
	<p>入力された認証プログラムの製品とインストールソフトウェアが一致しません。 インストーラを間違えている可能性があります。</p> <p><b>OK</b> をクリックして、インストーラを終了してください。 インストーラが正しいかを確認のうえ、再度実行してください。</p>
	<p>ネットワークに接続されていません。</p> <p><b>OK</b> をクリックして、Download Station サーバーに接続できることを確認して、再度実行してください。</p>
	<p>認証プログラムのインストール予定数までインストール済みであり、これ以上インストールすることができません。</p> <p><b>OK</b> をクリックして、インストーラを終了してください。 認証プログラム番号が正しいか確認してください。正しい場合には、これ以上インストールできないため、新たに認証プログラムを作成してください。</p>

表 6-1 エラーメッセージと対応

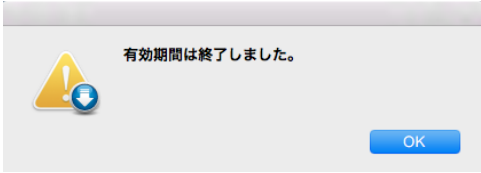

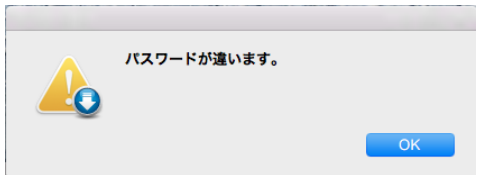

エラーメッセージ	原因と対応
	<p>認証プログラムの有効期間切れです。</p> <p> をクリックして、インストーラを終了してください。            認証プログラム番号が正しいか確認してください。正しい場合には、これ以上インストールできないため、新たに認証プログラムを作成してください。</p>
	<p>入力した実行パスワードが登録されているパスワードと不一致です。</p> <p> をクリックしてメッセージを閉じてください。            パスワードまたは、認証プログラム番号が間違っていないかを確認してください。</p>

表 6-1 エラーメッセージと対応（つづき）

## 7. ダウンロード履歴管理

ユーザーが自分のダウンロード履歴を参照・修正、認証プログラムを再ダウンロードすることができます。  
この機能で実現することができることは以下の5つです。

- ① ダウンロード履歴の管理
  - ・認証プログラムのステータス確認
  - ・いつ、何（どのようなソフトウェア）の認証プログラムを作成したか
  - ・どの PC でインストーラが実行されたか
- ② 認証プログラムのダウンロード
- ③ 認証プログラムの実行パスワードの変更
- ④ 手配番号の登録・変更
- ⑤ 備考欄の登録・変更
- ⑥ ダウンロード申請内容の変更・再申請・キャンセル



図 7 ダウンロード履歴管理概要

## 7-1. ダウンロード履歴管理検索

### (1) . ダウンロード履歴検索条件の設定


 ボタンをクリックすることによりログインユーザーの作成した認証プログラムの一覧を表示します。  
条件を指定することにより、データを絞り込むことができます。



図 7-1-1. ダウンロード履歴検索 検索条件

No.	項目	入力制限	説明
1	ユーザーID	半角英数字	ログイン中のログイン ID のみ指定できます。 検索条件に、他の方の ID を入れても検索できません。
2	ベンダ	選択	登録済のベンダ(ソフトウェアメーカー名)をリスト表示します。
3	インストール区分	選択	ダウンロードした際の指定(「新規」など)の区分を指定しての検索です。
4	認証プログラム番号	数字	ログインユーザーが作成した、またはログインユーザーを利用可能ユーザーとして登録した認証プログラム番号が表示対象です。
5	認証プログラム作成日（開始）	日付	認証プログラムの作成日付を範囲指定で指定します。 日付はカレンダーより選択して指定します。
6	認証プログラム作成日（終了）	日付	
7	ステータス	選択	ステータスを選択します。
8	製品名	テキスト	製品名を入力し検索します。 一部のキーワードのみを入力し“あいまい”検索もできます。ブランクで区切ることで複数ワードによる検索も可能です。
9	製品 ID	半角英数字	製品 ID による検索が可能です。
10	手配番号	半角英数字	入力した場合には手配番号での検索が可能です。
11	手配番号未入力	チェック	手配番号入力の運用を行っている場合、チェックを入れると手配番号未入力のレコードのみ表示します。

表 7-1-1. ダウンロード履歴検索 検索条件

## (2) . 検索結果の確認

認証プログラム番号の確認、インストール可能数（インストール予定数とインストール数）の確認、ステータス等を確認することができます。更に詳細な情報の確認、更新を行う場合には、該当明細行の **選択** ボタンをクリックします。

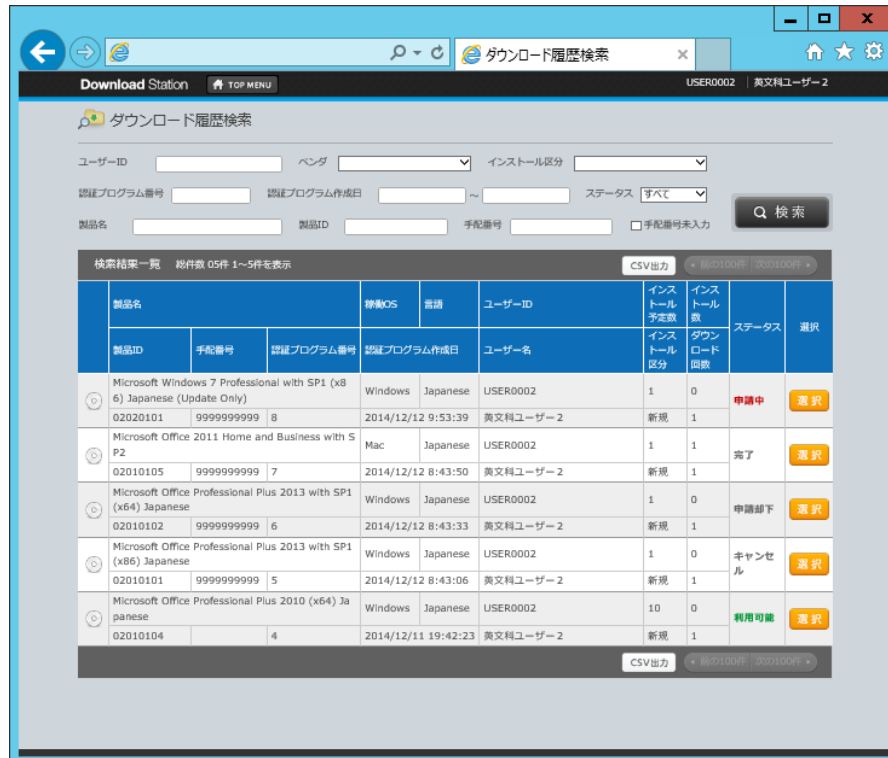


図 7-1-2. ダウンロード履歴管理検索結果

### ① ダウンロード履歴検索で確認できること

#### ・認証プログラム番号

認証プログラム番号を忘れてしまってもこの画面で、ソフトウェア名と認証プログラム作成日時で探すことにより確認することができます。

#### ・インストール予定数とインストール数

インストール予定数とインストール数から残りのインストール可能（回）数を確認することができます。

#### ・インストールを実行した PC 情報の確認

該当認証プログラムを利用してインストールを実行した PC の情報を確認することができます。  
マウスを OS 名に置くことによりポップアップで全 OS 名を表示します。

インストール予定数 1		有効期限 1 時間(H)	
インストール数 1			
インストール	Mac OS X バージョン 10.10.1 (ビルド 14B25)	MACアドレス	IPアドレス
assetbase の Mac...	Mac OS X バージョ...	assetbase	10:9A:DD:B1:C2:FA
			192.168.8.204
			2014/12/12 9:54:36

図 7-1-3 インストール PC 情報の表示

・認証プログラムのステータス

ダウンロード申請を行った場合、その申請が承認されているかどうか等、確認することができます。

ステータスによって **選択** ボタンをクリックして『ダウンロード管理詳細』画面で行うことができる操作は次表のとおりです。

ステータス	ステータスの説明	ダウンロード履歴管理詳細で行う次のアクション
<b>申請中</b>	ソフトウェア利用申請を行い未承認の状態です。	承認を待ちます。 定期的に『ダウンロード履歴管理画面』で確認してください。
<b>利用可能</b>	ソフトウェアのダウンロードが可能な状態です。	・ <b>ソフトウェアのダウンロード</b> ソフトウェアをダウンロードします。 ・ <b>更新</b> 追加情報を入力し、情報を更新します。
<b>申請却下</b>	ソフトウェアの利用を承認者より申請を却下された状態です。	・ <b>再申請</b> 不備内容を修正して再申請します。 ・ <b>キャンセル</b> 申請を取り下げる場合にはキャンセルします。 ・ <b>更新</b> 不備・追加情報を入力し、情報を更新します。
<b>完了</b>	インストール予定数までインストールを実行した。または、有効期限を超過した状態です。	・ <b>更新</b> 追加情報を入力し、情報を更新します。
<b>キャンセル</b>	ソフトウェア利用申請がキャンセルされた状態です。	・ <b>更新</b> 追加情報を入力し、情報を更新します。

表 7-1-2. 認証プログラムのステータス別の『ダウンロード履歴管理』機能

## 7-2. ダウンロード履歴管理詳細

『ダウンロード履歴管理詳細』では、認証プログラムの登録情報の確認と変更、ソフトウェアのダウンロード、ダウンロード申請・キャンセルを行うことができます。

図 7-2-1. ダウンロード詳細管理画面（承認プロセスなし）

No.	項目	入力制限	説明
1	認証プログラム番号	表示	ダウンロード実施時に採番された認証プログラム番号を表示します。
2	製品 ID	表示	ソフトウェアの製品 ID を表示します。
3	言語	表示	ソフトウェア言語を表示します。

表 7-2-1. 『ダウンロード管理詳細』画面で確認・入力できる情報

No.	項目	入力制限	説明
4	稼働 OS	表示	ソフトウェア稼働 OS を表示します。
5	製品名	表示	ソフトウェアの製品名を表示します。
6	インストール予定数	表示	ダウンロード時の設定値を表示します。
7	有効期限（時間）	表示	ダウンロード時の設定値を表示します。
8	実行パスワード	半角テキスト	パスワードを変更する場合に入力します。
9	実行パスワード（確認）	半角テキスト	実行パスワードと実行パスワード（確認）は一致している必要があります。
10	インストール区分	表示	ダウンロード時の設定値を表示します。
11	手配番号	半角英数字	ダウンロード時の設定値を表示します（変更可）
12	利用可能ユーザーID	半角英数字	認証プログラムを作成したユーザー以外に利用できるユーザーを1名指定することができます。 指定されたユーザーは『ダウンロード履歴管理』から認証プログラムをダウンロードすることができます。
13	同意利用規約	表示	認証プログラム作成時に同意した利用規約を表示します。
14	インストール数	表示	現在の累計インストール数を表示します。
15	インストール PC	表示	ダウンロードしたソフトウェアのインストール実行ボタンをクリックしたパソコンの情報を表示します。
16	備考 1～5	テキスト	認証プログラム作成時の入力内容を表示します（変更可）


表 7-2-1. 『ダウンロード管理詳細』画面で確認・入力できる情報（つづき）


『ダウンロード履歴管理詳細』では認証プログラムのステータスによって機能が異なります。目的に応じてボタンをクリックします。

ステータス	処理内容
<b>申請中</b>	ソフトウェア利用申請を行い未承認の状態です。申請内容の更新とキャンセルが可能です。 <div>更新      ダウンロード      ダウンロード申請      申請キャンセル</div>
<b>申請却下</b>	ソフトウェアの利用を承認者より申請を却下された状態です。申請内容の変更、申請内容を変更して再申請、申請のキャンセル操作を行います。 <div>更新      ダウンロード      ダウンロード申請      申請キャンセル</div>
<b>キャンセル</b>	ソフトウェア利用申請がキャンセルした状態です。登録内容の更新を行います。 <div>更新      ダウンロード      ダウンロード申請      申請キャンセル</div>
<b>利用可能</b>	ソフトウェアのダウンロードが可能な状態です。登録内容の更新（パスワード変更 等）とソフトウェアのダウンロードを行います。 <div>更新      ダウンロード      —      —</div>
<b>完了</b>	インストール予定数までインストールを実行した。または、有効期限を超過した状態です。登録内容の更新を行います。 <div>更新      ダウンロード      —      —</div>

表 7-2-2 ダウンロード履歴管理詳細で可能な処理

## 【留意点】

利用可能ユーザーID でログインした場合、 ボタンのみ利用できます。  
ダウンロード履歴情報を更新することはできません。

それぞれのボタンをクリックすると確認メッセージが表示されます。操作を続ける場合には  ボタンをクリックしてください。


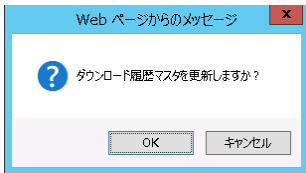

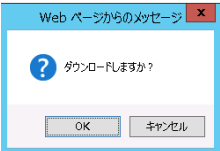

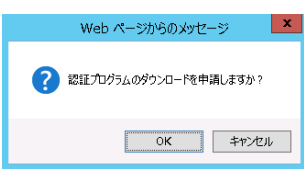

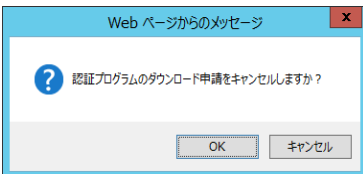


ボタン	確認メッセージ	処理メッセージ
		ダウンロード履歴マスタを更新しました。
		ダウンロード履歴マスタを更新しました。
		ダウンロードを申請しました。
		ダウンロード申請をキャンセルしました。

表 7-2-3 操作ボタンと確認メッセージ

処理を終了します。

 ボタンをクリック → 『Top Menu』画面に遷移します。

 ボタンをクリック → 『ダウンロード履歴検索』画面に遷移します。

## 8. システム使用履歴

Download Station の Web システム操作履歴をユーザー自身が確認できます。参照可能な使用履歴は、ログインユーザーの操作分のみです（システム管理者を除く）。

操作コードなどで参照する履歴情報を絞り込むことができます。検索条件を指定しない場合には、全ての使用履歴データが一覧表示されます。

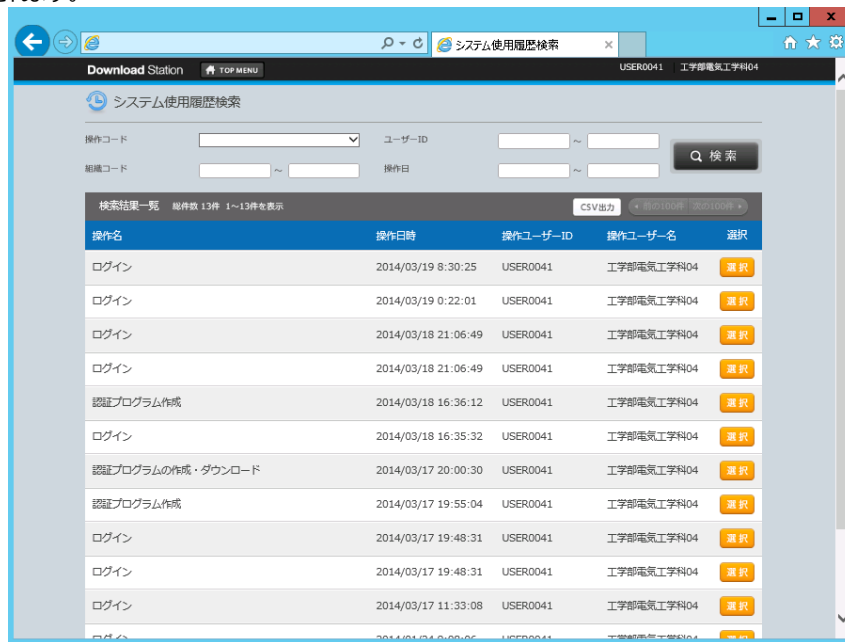


図 8-1 システム使用履歴検索

明細の[選択]ボタンをクリックすると個々の操作の詳細情報を表示します。



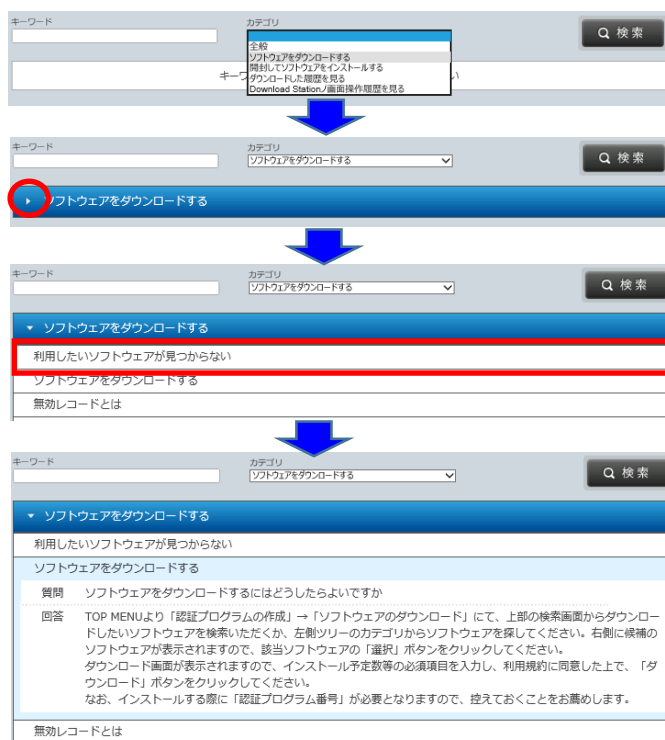
図 8-2 システム使用履歴詳細

## 9. FAQ

Download Station の操作に関する情報を検索・確認することができます。  
カテゴリを選択して表示します。また、キーワードによる部分検索が可能です。



図 9-1 FAQ



カテゴリをドロップダウンリストから選択

カテゴリの展開

カテゴリ明細の▶をクリック

確認したいトピック明細をクリック

選択されたトピックが質問・回答イメージで展開されます。

図 9-2 FAQ検索操作

## 10. メンテナンスモード

システムメンテナンスにより、Download Station システムが一時的に利用を制限する場合があります。その際、ログイン画面よりログインすると TopMenu 画面 ではなく、メンテナンスモード画面 が表示され、操作を行うことができません。



図 10 メンテナンスモード

## 【付録 1】Symantec Endpoint Protection でダウンロードした exe ファイルが 削除されてしまう場合

Symantec Endpoint Protection でダウンロードした exe が削除されてしまう場合があります。

以下の手順を実行することで、ダウンロード後のインストールメディアが削除される現象は回避され、正常にダウンロードした exe を実行することができます。

- ① タスクトレイから Symantec Endpoint Protection アイコンをクリックし、Symantec Endpoint Protection の管理コンソールを起動します。

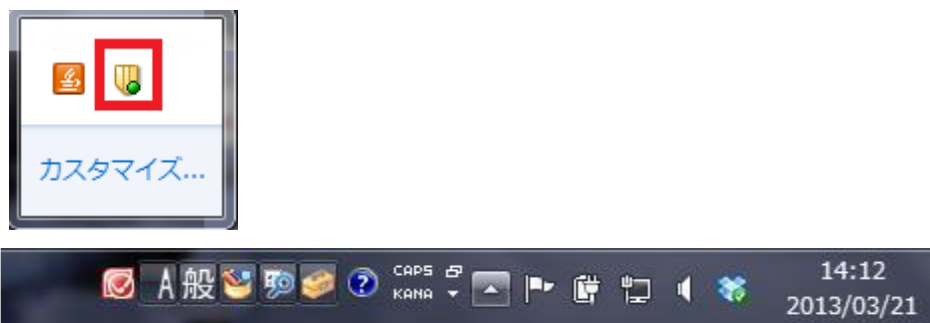


図 付録 1-1 Symantec Endpoint Protection の管理コンソールを起動

- ② Symantec Endpoint Protection の管理コンソールの[設定の変更]->[ウイルスとスパイウェアの対策]の[オプション設定]を選択します。



図 付録 1-2 [ウイルスとスパイウェアの対策]の[オプション設定]を選択

- ③[ウイルス対策とスパイウェア対策の設定ダイアログ]->[ダウンロードインサイト(T)]タブを選択し、  
「ダウンロードインサイトのファイル評価に基づく潜在的リスク検出を有効にする(E)」のチェックを外します。

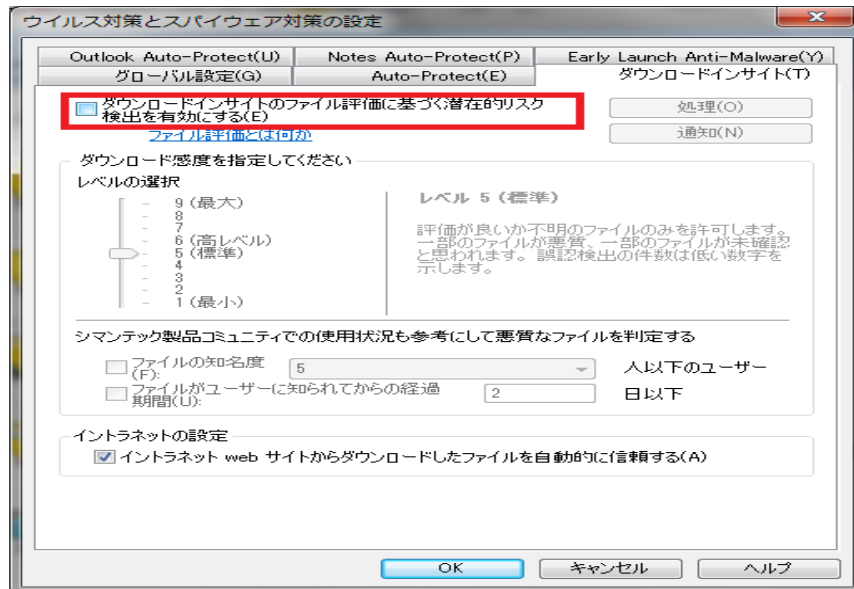


図 付録 1-3 ダウンロードインサイトのファイル評価に基づく潜在的リスク検出を有効にする

- ④ ③の設定を無効化することで、ダウンロード後のインストールメディアが削除される現象は回避され、正常にダウンロードした exe ファイルを実行することができます。

**【留意点】**

但し、こちらのチェックを外すことで、セキュリティリスクが上がりますので、ダウンロードした exe を利用して、ソフトウェアのインストールが終了した際は、必ず「ダウンロードインサイトのファイル評価に基づく潜在的リスク検出を有効にする(E)」にチェックを入れ、設定を有効にしてください。

## 【付録 2】ダウンロードしたアプリケーションの実行許可（Mac OS X 10.7 以降）

Mac OS より Download Station 上でソフトウェアをダウンロードし、インストール作業を行う場合、「インストーラは壊れているため開けません」または「開発元が未確認のため開けません。」というエラーメッセージが表示される場合があります。

このエラーを回避するためには、未確認の開発元のアプリケーションでもインストールすることができるよう権限を一時的に許可する必要があります。



メッセージ	メッセージに対する操作
 <p>“Firefox 31.0 for Mac”インストーラは壊れているため開けません。“ゴミ箱”に入れる必要があります。</p> <p>このファイルは“Safari”により今日の 16:50 に 192.168.1.1 からダウンロードされました。</p> <p>キャンセル    ゴミ箱に入れる</p>	<p>キャンセル    ボタンをクリックします。</p> <p>[システム環境設定]-[セキュリティとプライバシー]で[ダウンロードしたアプリケーションの実行許可]を“すべてのアプリケーションを許可”に設定を変更後に再度実行します。</p>
 <p>“Firefox 31.0 for Mac”は、開発元が未確認のため開けません。</p> <p>“セキュリティ”環境設定でインストールが許可されているのは、Mac App Store と確認済みの開発元からのアプリケーションのみです。</p> <p>このファイルは“Google Chrome”により今日の 19:36 に wi2.co.jp からダウンロードされました。</p> <p>OK</p>	<p>OK    ボタンをクリックします。</p> <p>[システム環境設定]-[セキュリティとプライバシー]で[ダウンロードしたアプリケーションの実行許可]を“すべてのアプリケーションを許可”に設定を変更後に再度実行します。</p>

表 付録 2-1 起動時エラー

「未確認の開発元のアプリケーションでもインストールすることができるよう権限を一時的に許可する」手順を以下に記載致しますので、お手数ですがご対応をお願い致します。（以下、10.10 Yosemite の画面）

- ① デスクトップ画面左上の Apple ロゴをクリックし「システム環境設定」画面を開きます。



図 付録 2-1 システム環境設定の表示

## ② システム環境設定

セキュリティとプライバシーをクリックします。



図 付録 2-2 セキュリティとプライバシーの選択 (Mac OS X 10.10 の場合)

## ③ セキュリティとプライバシー

左下の鍵マークをクリックします。



図 付録 2-3 セキュリティとプライバシーのロック解除

- ④ Mac OS のアカウント名とパスワードを入力し、[ロックを解除]をクリックします。



図 付録 2-3 セキュリティとプライバシーのロック解除②

- ⑤ [ダウンロードしたアプリケーションの実行許可]の項目が選択可能になります。  
「すべてのアプリケーションを許可」を選択します。



図 付録 2-4 セキュリティとプライバシーの設定変更

- ⑥ 警告メッセージ“すべてのアプリケーションを許可”を選択すると、セキュリティが低下します。”が表示されます。

すべてのアプリケーションを許可 ボタンをクリックします。

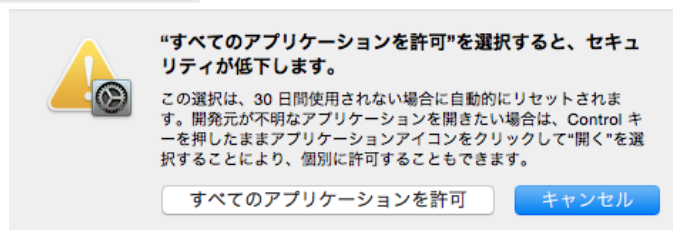


図 付録 2-5 セキュリティとプライバシーの設定変更の確認メッセージ

- ⑦ ファイルを開いても良いか確認メッセージが表示されます。

[開く]ボタンをクリックします。



図 付録 2-6 インストーラの実行確認メッセージ

- ⑧ インストーラ起動メッセージが表示されます。

[OK]ボタンをクリックします。『インストーラの確認と実行』画面に遷移し、インストーラ起動操作が可能になります。



図 付録 2-7 インストール開始メッセージ (Mac)

※インストールが終わった後、必要に応じて「Mac App Store と確認済みの開発元からのアプリケーションを許可」へ設定を戻して下さい。

※③④で解除したカギ  をクリックして変更できない状態に戻しておいてください。

## 【付録 2】こんな時どうする？

### ■ 認証プログラムのインストーラ実行パスワードを忘れてしまいました。

Web システムでパスワードを再設定することができます。

P.16 「5-2. ダウンロード履歴管理詳細」でパスワードを再設定してください。

### ■ 認証プログラム番号を忘れてしまいました。

Web システムでご自身が作成された認証プログラムを確認することができます。

履歴を参照し、作成日時や作成したソフトウェア名から認証プログラム番号を確認してください。

P.13 「5-1. ダウンロード履歴管理検索」をご参照ください。

### ■ インストーラ起動後、キャンセルまたは失敗してしまいました。

システム上、インストールを 1 回実施済の認識です。インストール数を超過する場合には、恐れ入りますが認証プログラムを再作成してください。

### ■ ソフトウェアのダウンロードで製品グループツリーが表示されず、ソフトウェアを選択することができません。

ログインユーザーに利用可能な製品グループが設定されていないためです。

管理担当にお問合せください。

### ■ ログインすることができません。

Download Station にユーザー情報が登録されていない場合があります。管理担当までお問合せください。